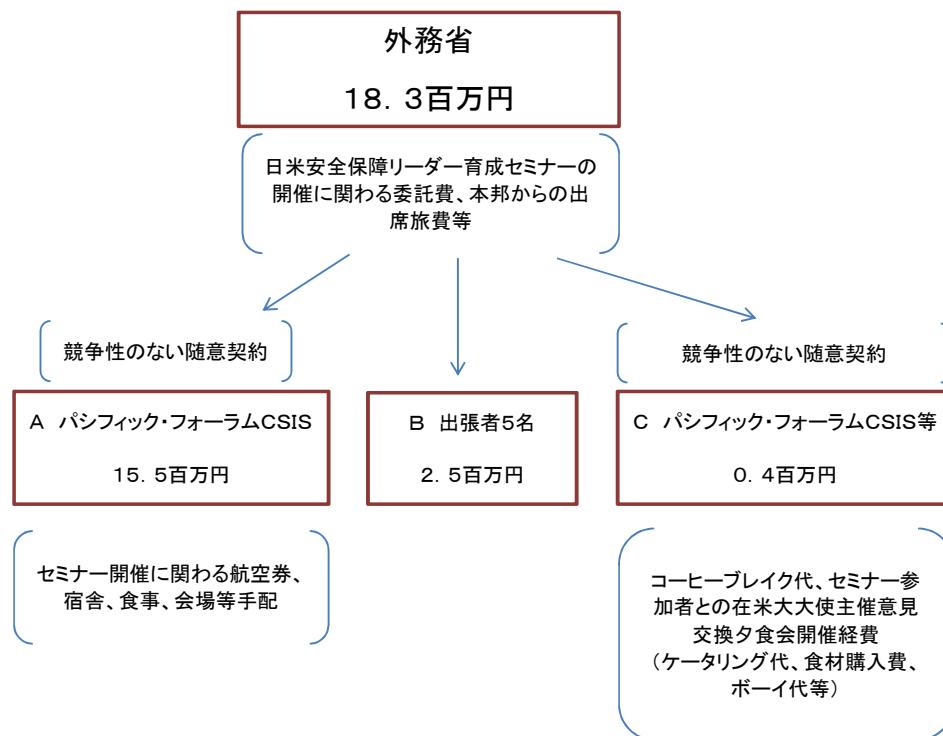


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日米安全保障リーダー育成セミナー開催経費	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始	担当課室	日米安全保障条約課	課長 船越 健裕				
会計区分	一般会計	施策名	北米地域外交に必要な経費					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米安保体制は、我が国による自主的な防衛努力と相俟って、我が国に平和と繁栄をもたらしただけでなく、アジア太平洋地域における安定と発展のための基本的な枠組みとしても有効に機能している。このような日米安保体制を維持するためには、常日頃より、両国行政内外に多くの人脈を築き上げ、日米安保体制に理解のある人間とそのネットワークを拡大していくことが不可欠である。本セミナーは、日米安保の将来を担う人材が短期的及び中長期的な課題につき議論するための場を提供するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	これまで日米安保体制を支えてきた両国有力高官の多くが現役を退いた後、日本との繋がりが希薄となる傾向がある。また、日米関係について正しい認識を有する者が日米関係について発信をする機会が減れば日米同盟の弱体化に繋がるおそれもある。よって、かかる事態を防止するには、我が国政府の施策として、日米安保体制に対する真の理解を更に確固たるものとするため、行政府の関係者のみならず、民間の有識者も含めた幅広い層の出席を得た本件のような定期的な会合を開催することが必要である。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	29	28	22	19	17	
	執行額	26	25	18				
	執行率(%)	91.2%	87.9%	84.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	セミナーへの参加人数 (日米安保の将来を担う人材をできるだけ多く参加させる)		成果実績	人	35	57	28	29
			達成度	%	87.5%	135.7%	82.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	セミナーの開催回数(毎年1回実施)		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1 (1)	— (1)
単位当たりコスト	18(百万円/回)		算出根拠	実績額÷回数				
平成23 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費	13,043	11,272					
	旅費	5,551	5,630					
	その他	481	454					
計	19,075	17,356						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災の影響により本セミナー出席のための外務省職員の出張を抑えたため、不用額が生じた。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本セミナーの目的を達成するためには、日米双方から、高い発信力を有する著名な有識者や政府高官経験者、米政府の現役政策担当者等、日米安保に深い理解を有する超党派からの参加を得ることが必要不可欠であり、米側主催団体にはそうしたハイレベルな米側参加者を確保することが求められるが、特にパシフィック・フォーラムCSISは、日米安保を含む環太平洋地域の安全保障問題に携わる研究者等について幅広い人脈を有しており、従来のセミナーでは一貫して超党派のハイレベルな米側参加者を確保してきた実績を有することから、同CSISと在米公館（通常は在サンフランシスコ総）との間で委託契約を行っている。 セミナー開催に係る経費の内、主催者側が特に招待する日米両国からの参加者の航空賃、宿泊料、食費等並びに現地公館開催夕食会に係る経費については外務省が負担している。また、本邦からの各出張者（外務省職員、有識者（講演者を含む））にその必要性を精査した上で支出している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直し、単価見直し等による減		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減（事業見直し、単価見直し等による減）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.パシフィック・フォーラムCSIS					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	セミナー開催に関わる人件費	6.5			
	旅費	航空賃、車両借り上げ	3.3			
	宿舍	宿舍、食事、コーヒー、会場借料	2.8			
	謝礼	講演者謝礼	1.0			
	印刷製本	配付資料、報告書等印刷製本費	1.0			
	事務局	事務局設営(電話、コピー機等)費	0.9			
	計		15.5	計		0.0
	B.出張者					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	セミナー出席のための旅費	2.5			
	計		2.5	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィック・フォーラムCSIS	セミナー開催のための業務委嘱	15.5	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	セミナー出席のための旅費	0.7		
2	出張者B	セミナー出席のための旅費	0.7		
3	出張者C	セミナー出席のための旅費	0.7		
4	出張者D	セミナー出席のための旅費	0.3		
5	出張者E	セミナー出席のための旅費	0.2		
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィック・フォーラムCSIS	コーヒーブレイク代	0.09	随意契約	—
2	Sugita Foods ,INC	ケータリング代	0.07	随意契約	—
3	個人A	ボーイ代	0.05	随意契約	—
4	Maboroshi Wine Estates	意見交換会食材購入費	0.04	随意契約	—
5	Super Mira	意見交換会食材購入費	0.03	随意契約	—
6	Michael S.Hensley Party Rental & Sales CO.	テーブル借料	0.02	随意契約	—
7	New May Wah Super	意見交換会食材購入費	0.02	随意契約	—
8	IMP Food inc.	意見交換会食材購入費	0.01	随意契約	—
9	個人B	厨房補助	0.01	随意契約	—
10	Nijiya Market	意見交換会食材購入費	0.01	随意契約	—